



家庭学習のすすめ



<皇子山中学校区版>

※こちらの面をよく見える所にはっておきましょう！

家庭学習の意義

家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます！

- 1 学習内容が確かなものになる
- 2 学習の習慣が身につく
- 3 がまん強さ、根気、集中力がついてくる
- 4 家族のふれあいの場にもなる

家庭学習のポイント、保護者の役割

保護者の心がまえや関わり方で、家庭学習の成果もかわってきます。子どもの学習意欲が高まるようなはたらきかけをお願いします。

- 1 決まった時間に毎日学習する
- 2 集中して学習する
- 3 学習環境をととのえる
- 4 子どものがんばりを認め、ほめて励ます

家庭学習の方法

- 1 学校の宿題に最初に取り組みさせてください。時間があれば、自主学習や読書などに取り組みさせてください。
- 2 高学年になったら、自分で考えて取り組めるようになることが大切です。
- 3 勉強がおわったら、次の日の準備をする習慣をつけさせましょう。

鉛筆をけずり、準備物をしっかり用意し、次の日の学習予定を頭に入れておくことが大切です。

各学年の学習時間

1年生・2年生	20分～30分以上
3年生・4年生	40分～50分以上
5年生・6年生	60分～70分以上

※詳細は裏面をご覧ください。

各学年の家庭学習のポイント（3・4年生）

認めてほめて自信をつける

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によってやる気を起こします。宿題をみるなど手助けして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。

こんな時期です

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ、手助けは必要です。

ポイント

- (1) 子どもの学習に関心を がんばりを見逃さず励ましの言葉をかけましょう。
 - ・わからないところはいっしょに考える。
 - ・子どものちょっとしたがんばりをほめる。
- (2) 学習環境を整える 学習時間をいっしょに決めましょう。
 - ・テレビは消す。スマートフォンやゲーム機は別の場所に置く。
 - ・テレビやゲームの時間は家族で話し合って決める。
- (3) 家族と学校の協力 学校からのお便りを家族に渡す習慣をつけましょう。
 - ・置く場所を決める。
 - ・食事の前に渡すなど、渡す時刻を決めて約束する。



学年で身につけたい力

<自分で歩き出す3年生>

- ・配当漢字（200字）のすべてを読み、8割以上の漢字を書くことができる。
- ・国語辞典の使い方に慣れる。
- ・ローマ字を読み書きできる。
- ・順序を考え「」を使った文を書くことができる。
- ・正しい手順で位をそろえてかけ算の筆算ができる。
- ・わり算ができる。
- ・コンパスを正しく使うことができる。
- ・長さ・重さ・時間の単位と測定ができる。
- ・小数や分数の意味や表し方が理解できる。
- ・地域の様子や働く人の様子に興味を持つ。

<自信をつける4年生>

- ・配当漢字（200字）のすべてを読み、8割以上の漢字をかくことができる。
- ・国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れる。
- ・文と文の意味のつながりを考えながら指示語や接続語を使うことができる。
- ・わり算の筆算ができる。
- ・ローマ字を適切に読み書きできる。
- ・地図を使って地名を調べることができる。
- ・47都道府県の位置がわかり、正しく漢字で名前を書くことができる。
- ・分母が同じ分数のたし算ひき算ができる。
- ・冒険物語や知識を広げる本に親しむ。